

Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業

(きらめき2号の打上げについて)

平成29年2月

防衛省Xバンド衛星通信整備事業推進グループ

きらめき2号の打上げについて

- 1月24日（火）1644、種子島宇宙センターでの国産H2Aロケットによる「きらめき2号」の打ち上げに成功。現在、衛星は所定の静止軌道位置に到着し、性能確認試験を実施中。
- 本年3月末を目途に本格運用を開始。

- 防衛通信衛星として、我が国の安全保障上、極めて重要な通信インフラ。
部隊の指揮統制の情報通信に使用し、防衛省が保有・運用する衛星として、全3機体制で整備。
- 主に以下の点で、能力向上を図る。
 - ① 陸海空自衛隊の各部隊間での円滑な通信確保
 - ② より大容量の画像・映像データの伝送を可能とする通信容量の充実
 - ③ 海外等広域で活動する部隊等への必要十分な通信所要の確保
- 今後、全3機体制の早期実現を目指す。
1号機（きらめき1号）は、来年3月～9月の打ち上げを予定。
3号機は、平成32年度末の打ち上げを追求。



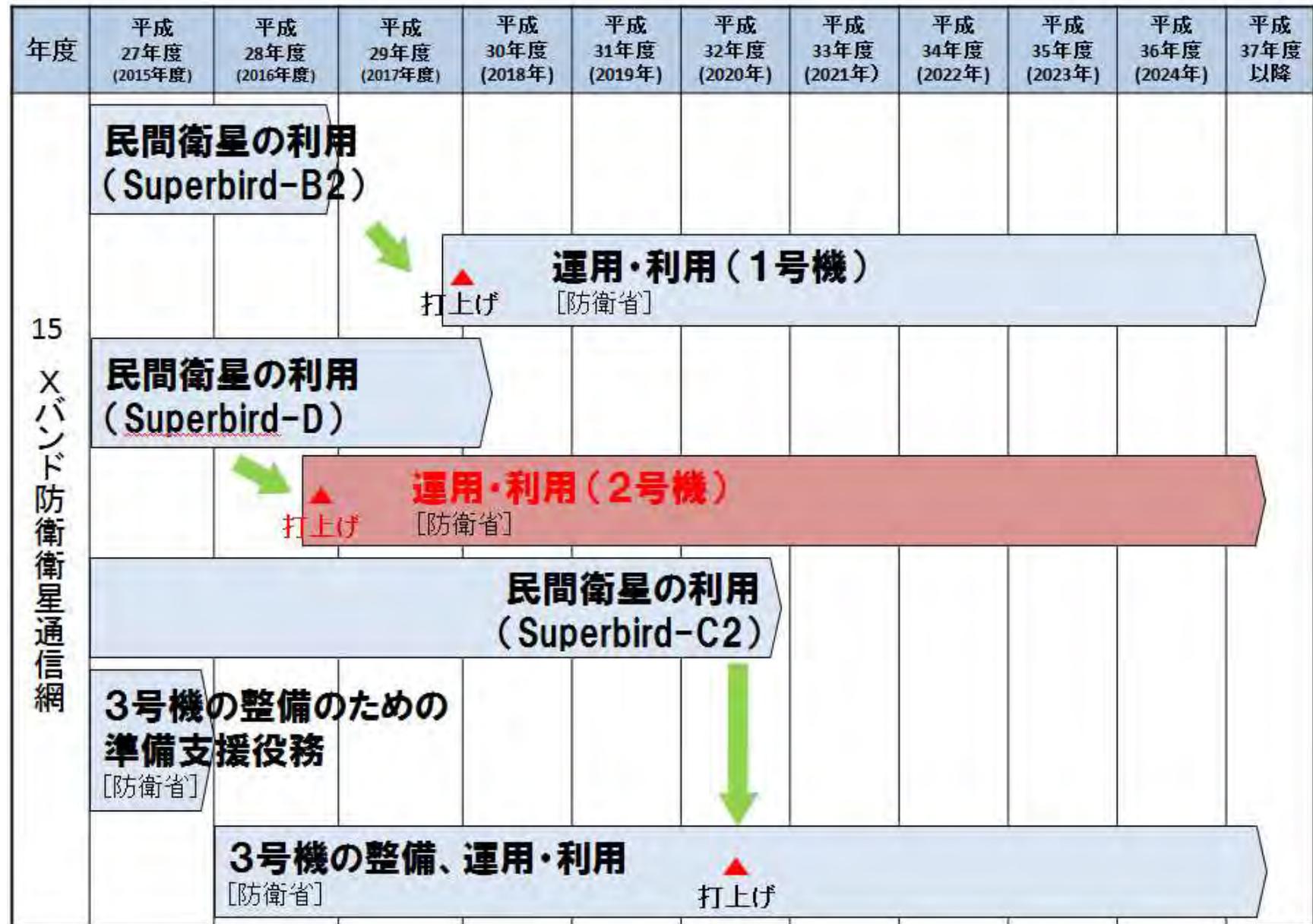
若宮防衛副大臣等による打ち上げ成功の発表
(種子島宇宙センター)



「きらめき2号」打ち上げの様子
(種子島宇宙センター)

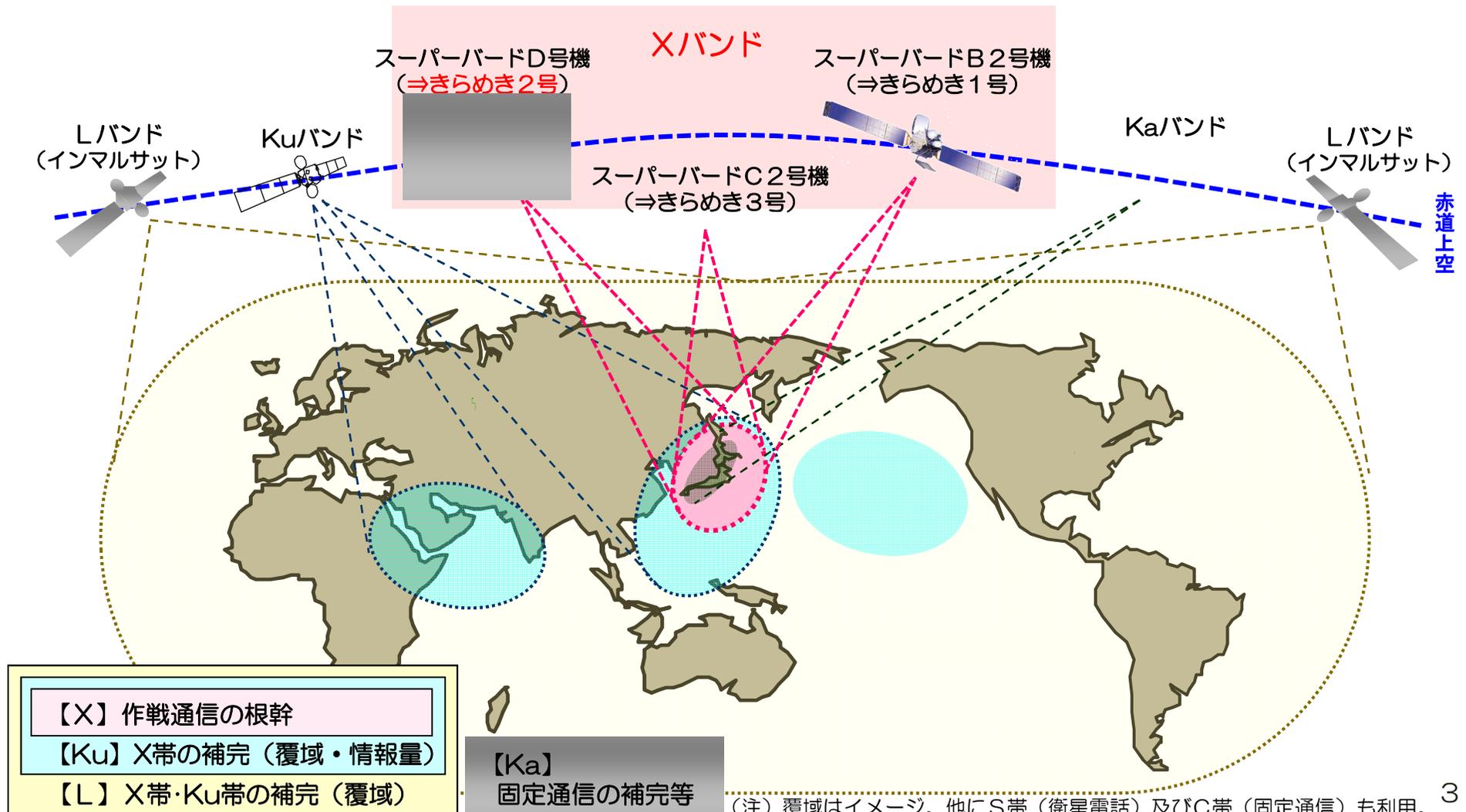
参考1 宇宙基本計画工程表（平成28年度改訂）

4. (2)① iii) 衛星通信・衛星放送



参考2 防衛省の衛星通信体系におけるXバンド衛星通信

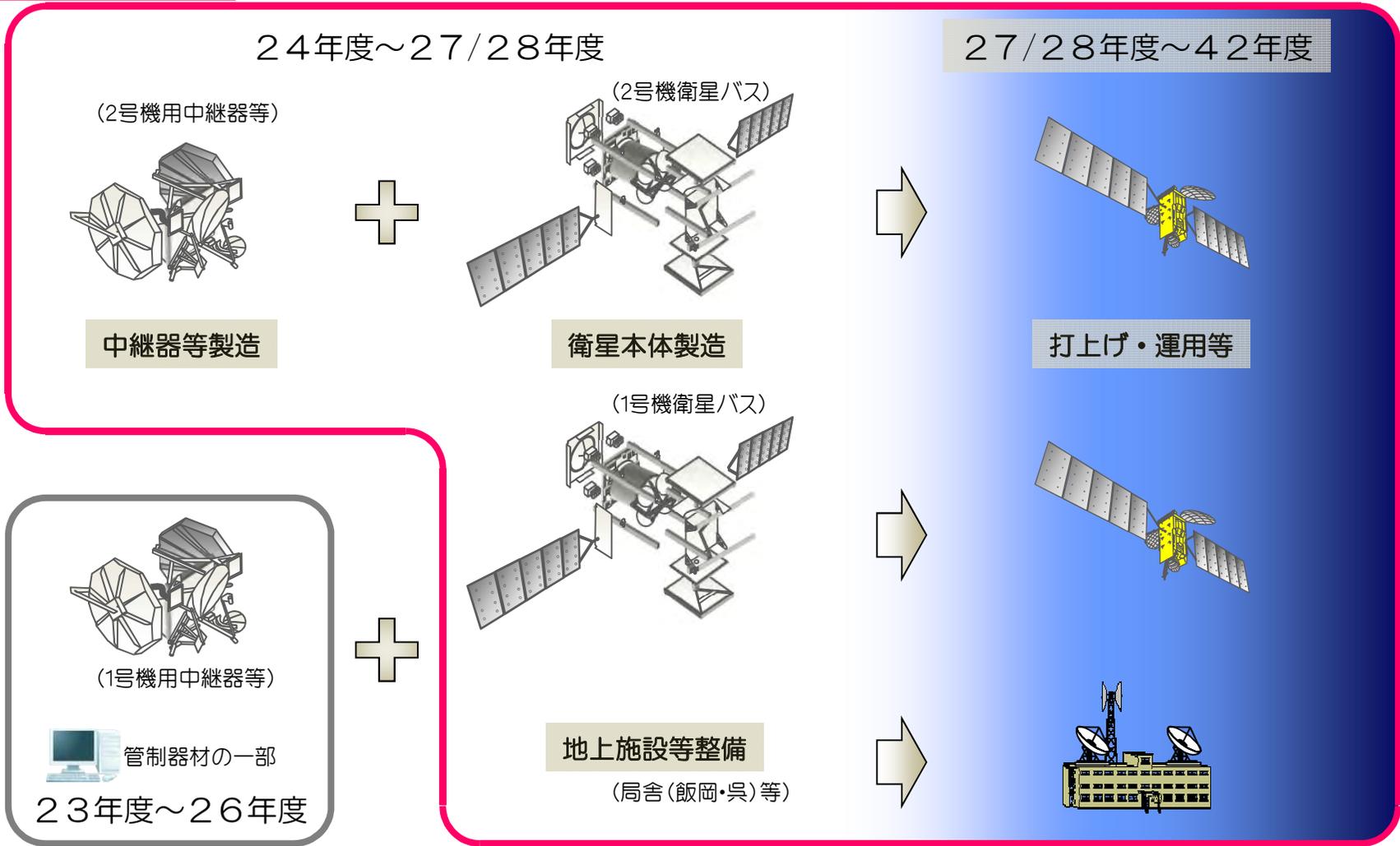
- 自衛隊の衛星通信は、主としてX、Ku、L、Kaの各周波数帯域（バンド）を使用。
- このうちXバンドは、作戦部隊の指揮統制や作戦情報支援など、部隊行動に関わる重要な通信に使用。
- Xバンド衛星通信網を構成する通信衛星3機のうち2機の設計寿命に伴い、後継衛星2機を整備。
- スーパーバードC 2号機後継衛星（3号機）については、29年度予算案に計上。



参考3 事業の構成（1号機・2号機）

24年度事業
(PFI事業)

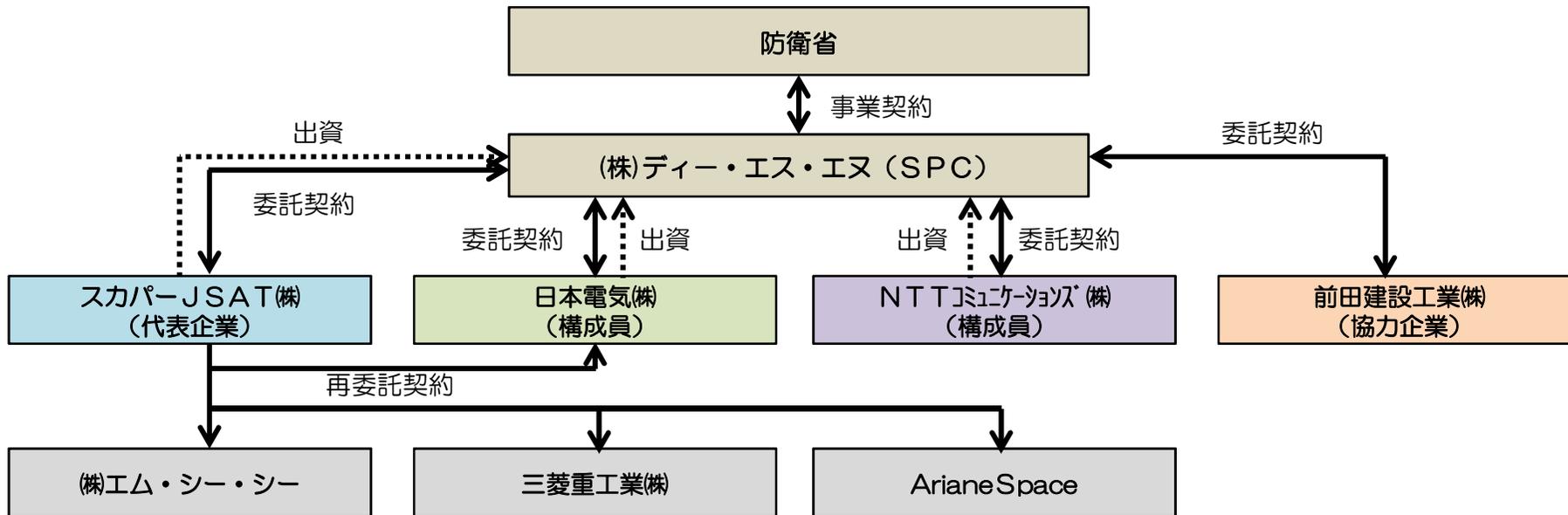
予算額約1,224億円（契約額約1,221億円） [平成24年度～平成42年度]



23年度事業
(海自事業)

中継器等：予算額約140億円（契約額約67億円） [平成23年度～平成26年度]
 管制器材：予算額約20億円（契約額約18億円） [平成23年度～平成25年度]

参考4 事業の業務分担（1号機・2号機）



業務区分	下請負	2次下請負：（ ）は非応募企業	業務内容等
衛星調達	スカパーJSAT	日本電気	調達管理
		(三菱重工業/Ariane Space)	衛星製造
			衛星打上（相互バックアップ）
地上施設整備	日本電気		バス管制・中継器等管制設備器材、統衛通信NMSの整備
	前田建設工業		局舎の整備
衛星運用	スカパーJSAT	(エム・シー・シー)	運用管理、バス管制
			中継器等管制
施設維持管理	スカパーJSAT		バス管制設備器材の維持管理
	NTTコミュニケーションズ		中継器等管制設備器材、統衛通信NMSの維持管理
	前田建設工業		局舎の維持管理
全般管理	スカパーJSAT	(エム・シー・シー)	統括マネジメント、庶務、保険付保支援、技術支援
			周波数調整支援